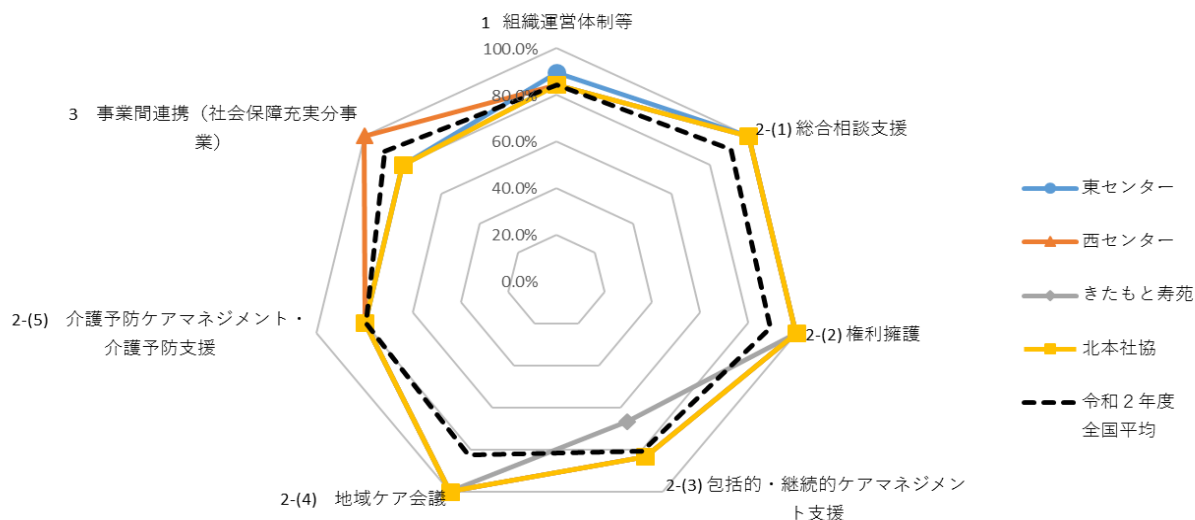




		東センター	西センター	きたもと寿苑	北本社協	令和2年度 全国平均	令和1年度 全国平均
1	1 組織運営体制等	89.5%	84.2%	84.2%	84.2%	84.2%	81.3%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	90.8%	88.7%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	89.2%	85.9%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	83.3%	66.7%	83.3%	80.9%	78.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	82.5%	80.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	79.5%	75.8%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	100.0%	80.0%	80.0%	89.3%	87.2%

1. 当市の傾向

概ね全国平均を上回っていますが、2-(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援及び3事業間連携（社会保障充実分事業）に関して、全国平均を下回っているセンターがあります。

2. 未達成指標について

2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

① 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に、指定居宅介護支援事業所に示すこと。⇒研修会・事例検討会等については、開催に際し、周知は行っているものの、年度当初に、開催計画を示すことができていません。

② 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握していること。⇒相談事例の記録は整備していますが、内容の整理・分類に至っていない状況です。

3 事業間連携（社会保障充実分事業）

①在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っていること。⇒医療機関において相談員がいると、直接連携がとれているため、センターを通さなくてもよいケースもあるため。

3. 今後の取組

2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

① 次年度以降、市内の指定居宅介護支援事業所に対し、研修等の開催計画を記載した案内文書を送付します。

② 相談事例の内容を整理・分類することにより、市内の介護支援専門員が抱える課題等を明らかにし、解決策の検討を実施します。

3 事業間連携（社会保障充実分事業）

① 在宅医療連携センターの活用方法をあらためて周知することにより、活用を促進します。